



**総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)における
組織体制および取組内容**

**総合型地域スポーツクラブ全国協議会
(SC全国ネットワーク)**

平成28年8月17日

■設立

公益財団法人日本体育協会の組織内組織として
2009年(平成21年)設立

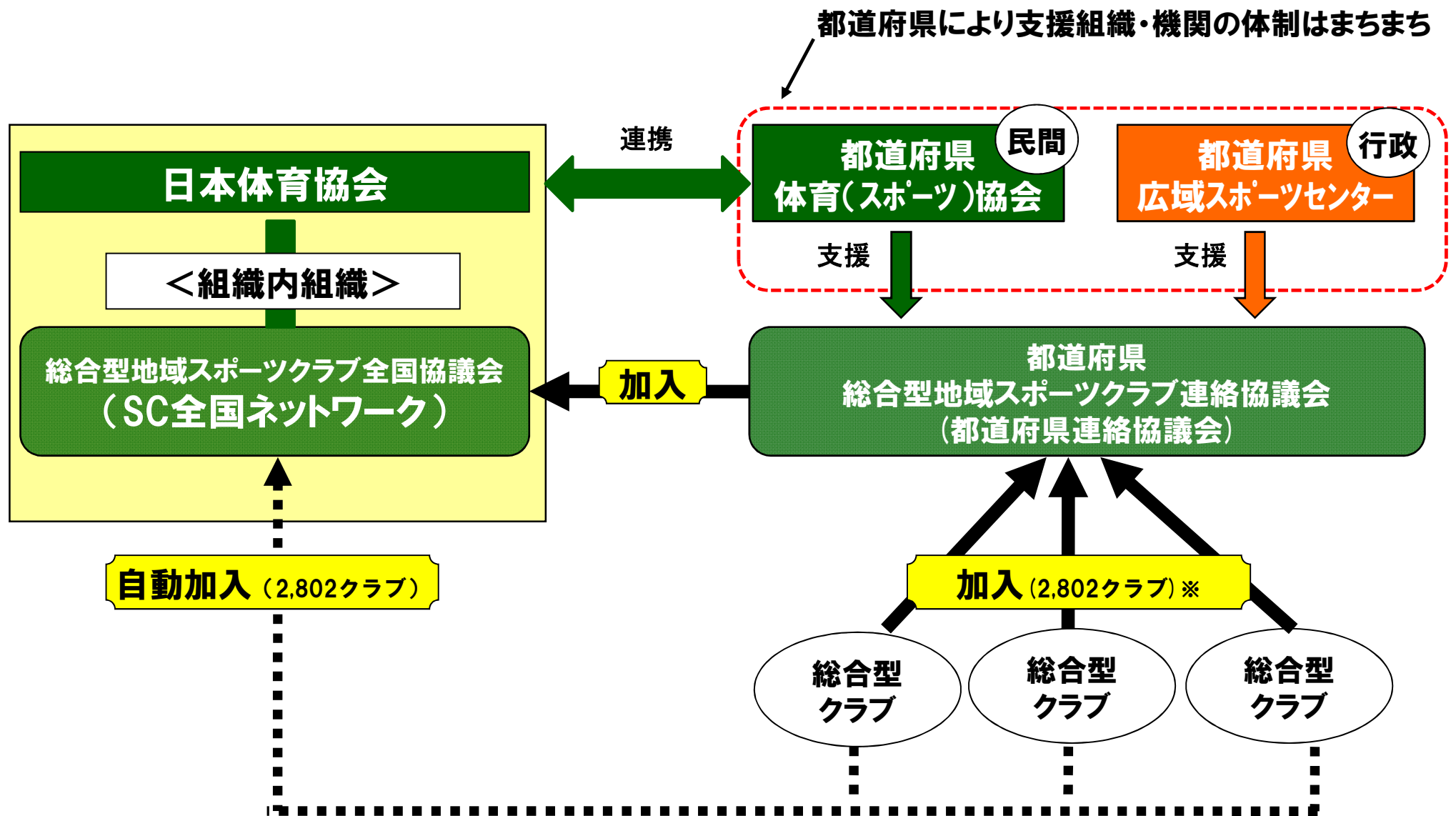
■目的

全国で活動する総合型クラブの定着・発展を促進するため、
その円滑な運営に資する情報交換や活性化を図り、もって生涯スポーツ社会の実現に
寄与することを目的とする。

■加入クラブ数

2,802 (加入率:3,550クラブ中 約79% *平成27年12月末時点)

総合型地域スポーツクラブ全国協議会 (SC全国ネットワーク) 組織体制



※平成27年12月末時点

都道府県連絡協議会の組織体制

平成28年度 都道府県連絡協議会現状把握調査結果より

■事務局所在地

クラブ	: 21協議会	県体育協会	: 16協議会
教育委員会	: 3協議会	広域スポーツセンター	: 7協議会

■年会費

無料	: 9協議会	1,000円～3,000円	: 13協議会
5,000円～6,000円	: 13協議会	1,0000円以上	: 12協議会

■法人化

任意団体	: 38協議会	法人	: 4協議会
		法人化予定	: 5協議会

■主な取組（過去実施事業）

- 国・関係機関への提言
- リスクマネジメント研修会
- 「活動風景写真」「クラブ広報誌」コンテスト
- 「キャッチコピー」コンテスト

■主な取組（継続実施事業）

- 総会・常任幹事会の開催
- ブロック別クラブネットワークアクション
- ヒューマンエラー防止研修会
- 都道府県連絡協議会現状把握調査
- 総合型クラブの自己点検・自己評価の実施推進
- SC全国ネットワーク啓発リーフレットの配布
- 各都道府県連絡協議会における取組（研修会の実施等）

■ブロック別クラブネットワークアクション

(全国9会場 約1,000名参加*平成27年度)

目的:クラブ間のネットワークの強化
都道府県連絡協議会間の連携・協力体制の促進

方法:全国9ブロック別に、ブロック内の都道府県連絡協議会の代表者が集まり、
企画内容の立案から当日の運営までを行う

※都道府県体協やクラブアドバイザーの協力も得ている



「地方創生」、「コミュニティ・デザイン」、「クラブの経営」、「健康づくり・介護予防」等、幅広いテーマについて学ぶ

■ **ヒューマンエラー防止研修会** (全国9会場 約380名参加*平成27年度)

目的:心理面におけるリスクマネジメントを学ぶ
安全・安心なクラブ運営に役立てる

方法:平成27年度から31年度までの5年間で毎年9~10都道府県(会場)ずつ
実施する(5年間で全国47都道府県にて実施する)
実施する都道府県連絡協議会において準備・運営を行う



心理学に精通している講師のもと、講義・グループワークを通じて、ヒューマンエラー(人のミス)の防止について学ぶ